

魚の城下町

みんなが主役のまち

華やかに練り歩く夏の風物詩

7月1、2、3日に町内において開催された神社祭。

当番町内会による神輿や踊りが披露され、町内を明るく盛り上げてくれました。



羅臼町民が幸福になるためのKプロジェクト

令和元年度 町長行政執行方針

― 抜粋 ―

羅臼町長として1期4年の任を終え、2期目がスタートし、町民の安全と幸福、そして羅臼町の発展のため全力を尽くし、町政運営にあたる決意を新たにしているところです。

先の1期4年は、「羅臼町民が幸福になるためのKプロジェクト」を柱に町政運営を行い、2期目についても「Kプロジェクト」を軸に町政運営を進めます。

これまで行ってきた、知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議や知床らうすを支えるオーバー60協力隊の参加者や各町内会の座談会で寄せられた、町民皆様の貴重なご意見をもとに結成した庁舎内プロジェクトチームでの取り組みは、更に充実を図り今後も続けていきます。また、羅臼漁協、羅臼町商工会、知床羅臼町観光協会、羅臼町水産加工振興協会、羅臼地区営農推進組合、各金融機関と共に立ち上げた「産業振興審議会」などで、これからの産業や経済の方向性をより深く現実にも則した協議をしていきます。

「まちづくり」の基本姿勢

羅臼町長に就任以来、掲げてきた「Kプロジェクト」は、第2ステージ「行動と改革」へ

向かいます。

納税や健康などへの意識改革、経済や産業分野での構造改革、人口減少社会に対応した行政改革などは、避けて通ることのできない課題であると思っておりますが、現在の当町の予算規模では、すべてにご満足頂ける行政運営をすることは、現状では不可能であり、それぞれの分野において「Kプロジェクト」のもと、知恵を絞り、工夫をし、全町民参加のもと協働でのまちづくりを推進していかねばなりません。

また、当町で近年成長産業である観光分野などに必要な事業展開を推進し、流動人口拡大雇用創出のための企業誘致を含めた企画提案の営業も羅臼町のトップセールスマンとして積極的に行っていきます。

知床らうすの持っている自然環境は、世界に類をみないほど価値のある素晴らしいものであり、このような環境の中で、日々暮らしていること自体が幸せなことだと感じられるようなまちづくりを目指すことこそ究極の目標です。地域を活性化し、町民一人ひとりが、経済的にも心理的にも不安のない日々を過ごせる羅臼町にするため、職員一丸となってあらゆる努力をしていきます。

「まちづくり」の基本方向

(1) 地域を支える産業の活性化を目指します
当町の総取扱金額も鮮魚・製品を合わせて2年連続で80億円台まで落ち込んでいますが、基幹産業である漁業を中心に発展を目指すため羅臼漁協の増養殖事業や種苗放流事業の取り組み、組合員の積極的な取り組みをしっかりとサポートしていきます。

また、陸上での種苗生産や海洋深層水の特性を活かした漁獲物の出荷調整による付加価値化、新たな水産資源の蓄養試験など羅臼漁協や専門機関と協議しながら町として「羅臼町蓄養計画」を策定し、つくり育てる漁業を推進していきます。

水産資源の減少は加工業や小売業にも大きな影響を与えておりますが、漁業資源を増やすことは簡単にできることではありませんので、当町で荷揚げされた魚をこの地域内で循環させ、いかに町の経済に結びつけていくか、今あるこの資源をどう活用して付加価値をつけて町外に出していくかが重要であります。

技術や経験をもった年配の方々が活躍できる新しい産業の創出を支援するとともに、町内での若い起業家へも支援をしていきます。

商工業の振興については、5年目を迎える「ふるさと納税」事業において、知床らうすブ

ランド認証商品をはじめとする地域の特産品を返礼品に採用することで、水産物の高次加工や新商品開発など、特産品づくりの機運を高めているとともに、地域経済を支える商工振興策の1つとなっています。魅力ある返礼品の提供を通じて寄付者と町内事業者と町との関係を強化し、観光誘客やより多くの羅臼ファン獲得を目指して、羅臼が元気になる地域振興策として取り組んでいきます。

観光の振興については、外国人を含む多くの観光客に訪れて頂くためトップセールスにより修学旅行や観光客の誘致を推進し、関係人口の拡大を図っていきます。

更には、雇用の拡大と温泉など地域資源を活かした観光関連企業の誘致も進めていきます。

(2) 安全・安心なまちづくりを目指します

平成24年7月にハザードブックを作成し、既に避難場所や津波・洪水による浸水範囲、土砂災害による危険箇所などの情報を町民に周知しているところですが、巨大地震発生の可能性の公表に伴い津波想定が見直される見込みであること、町内における土砂災害警戒区域などの調査が完了したこと、また、指定緊急避難所・指定避難所の指定や河川の浸水想定の見直しなど、新たに周知しなければならない情報があるため、ハザードブックの見直しを検討していきます。

町営住宅については、「羅臼町町営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化が著しい町営住宅の適正な活用を図るため、計画的な建替えや改善、修繕の実施により、適正な供給戸数の確保による住宅セーフティネットづくりを進め、安全・安心に住み続けられる良質な町営住宅の形成を基本目標に進めていきます。

上水道については、安定して供給できるように努めていきます。

また、水道事業の健全経営を図るため、水道料金の見直しの検討を行っていきます。

(3) 幸せを感じる医療・保健・福祉・介護の充実を目指します

障がい者が地域の中で安心して生活できる障がい者福祉の充実と町の宝であります子どもを安心して子育てできる支援を強化していきます。子育て支援については、今年度から「放課後児童クラブ」を新たに春松小学校内に開設しました。

幼児期の保育は充実してきているものの、就園前の乳幼児の保育体制は、未だ不安定な状況にあるため、今年度策定する「第2期羅臼町子ども子育て支援事業計画」において、安心して子育てができる支援体制を確立できるよう検討していきます。

(4) うるおいある快適な生活環境の充実を目指します

ごみ処理施設の老朽化や燃料費の高騰などによりごみ処理費用が年々増加しているため、当町のごみ袋の料金改定について検討していきます。

根室北部衛生組合が管理する「一般廃棄物最終処分場」については、標津町崎無異地区施設が使用期限を迎えるにあたり、標津、羅臼2町の協定に基づき、更新施設を当町に建設するための整備を促進していきます。建設地には、峯浜町の住民合意を頂き、「堆肥センター」及び「水産系廃棄物処理施設」の後背地に決定しており、本年度は地質調査のほか生活環境影響調査等を進め、基本計画などを策定するものです。

(5) 豊かな心を育む教育文化のまちを目指します

当町の豊かな自然環境や歴史・文化のもとで、これまで先人の積み重ねてきた成果と知恵・工夫などを基礎とし、町民皆様とともに「教育大綱」を共有し、様々な分野について広く連携して教育の充実に向け取り組んでいきます。

人口減少や少子化による児童数の減少に伴う小学校一校化、幼稚園一園化の具体的な幼稚園・学校適正配置計画の策定は、今後の児童・生徒数の状況や新学習指導要領に基づいた教育

課程がしつかりと行えるよう環境を整えるためにも、令和4年度に一校一園化を実現できるよう町民皆様とも協議を深めながら、幼稚園・学校適正配置計画の策定を進めていきます。

(6) 身の丈に合った財政健全化の実現を目指します

今後、急速に進む、少子高齢化に伴う社会保障費の増大に加え、公共施設等の利用需要の変化や老朽化対策などが予想されることを踏まえ、公共施設等の管理、改修、更新、廃止、解体などを、「羅臼町公共施設等総合管理計画」に基づき、取り組んでいきます。

そのためには、「行財政改革と財政健全化」を両立させ、収支の均衡を保つことができる身の丈に合った財政運営を念頭に財政構造の転換を推進し、持続可能な安定した財政の確立を目指します。

また、特別会計については、徹底した歳入確保及び歳出削減に努めていきます。

□ おわりに

2期目の町政を執行するにあたり、私の基本姿勢が変わりなく「羅臼町民が幸福になるためのKプロジェクト」を柱に産業・経済の安定化のために大胆な改革の取り組みを進め、羅臼町発展のため一層精進を重ね全力を尽くしていきます。

議員各位をはじめ、町民皆様、関係機関や諸団体の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

持続可能な地域づくりの未来を創造する人材育成

令和元年度 教育行政執行方針

― 抜粋 ―

全国的に少子高齢化や人口減少、過疎化による働き手不足と集落存続の危機という大きな課題が浮き彫りとなり、このような急激な時代の変化に対応できる人材の育成が早急に求められていることから、当町の豊かな自然環境や歴史・文化のもとで全ての町民の皆様とともに様々な分野について広く連携して教育の充実に取り組んでいきます。

□ 教育行政推進の基本姿勢

当町の持続可能な地域社会の実現と未来を創る人材の育成を目指すためには「社会で生きぬく力」を身につけた子ども達を育成する必要があります。

新しい幼稚園教育要領による幼稚園教育が始まり、今後、新しい学習指導要領も小学校、中学校、高校において実施されます。

幼稚園・学校教育では、指導要領の前文にESDに基づいた表現が組み込まれ、今後4年間の方向性として、幼小中高一貫教育を軸に**気づく力、考察する力、解決する力**を育て、学習することの大切さを自ら学び**学力の向上**に結びつけていきます。

□ 主要施策の推進

(1) 未来を創る人材の育成

北海道教育委員会から「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の研究指定を受け、立教大学ESD研究所や東京大学海洋教育センターと連携して、幼稚園から高校まで体系的なプログラムの実践を推進します。

また、ふるさとキャリア教育、産業人材の育成、世界自然遺産「知床」を通しての海洋教育・環境教育を利用したグローバル人材の育成については、各学校及び教育関係機関と連携を深めながら継続して推進します。

(2) 社会で生きぬく力の育成

当町が進める「幼小中高一貫教育」を通して、子ども達の確かな学力を育む学習指導や健やかな体を育む取り組み、特別支援教育、豊かな心を育む教育やいじめ問題等への取り組みを継続し、学力向上に向け取り組みます。

人口減少や少子化による児童数の減少に伴う幼稚園一園化、小学校一校化の具体的な幼稚園・学校適正配置計画の策定を進めており、次年度には町民皆様とも協議を深め、令和3年度に必要な施設の改修を行い、令和4年度に一校

一園化を実現します。

羅曰高校への支援について、今後1学年1間
口が確定されたことから、来年度から地域連携
特別校に指定される動きがあり、指定を受ける
と遠隔システムが導入され、生徒会交流や教職
員研修等に活用されるようになります。

地元で高等教育が受けられるよう環境を整え、
特色ある教科等への支援を更に強化し充実させ
ます。

(3) 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

今年度は、第7次社会教育中期計画の最終年
度と第8次中期計画の策定年度となっております。
す。

今後、第8次社会教育中期計画策定委員会を
設置し、社会情勢を勘案しながら4か年計画を
策定します。

社会教育事業については、昨年、保健福祉課
と連携した「親育ち応援チーム」のアンケート
調査をし、結果を踏まえ、子を持つ親の悩みや
相談を解決するための「家庭教育学級」等を開
催し、子育て支援を充実させます。

また、青年教育については、町内の青年層の
交流や道内で活躍する人達との交流を深め、町
内研修や道内研修の機会を持ちながら、同世代
への波及効果をねらい、次代のまちづくりの担
い手を育成します。

公民館事業については、各種講座の充実とし
て、実生活に即した講座や各種趣味講座を町内
会館や学校開放を利用して開催したいと考えて
います。

芸術鑑賞事業の提供についても、青年層や成
人層を中心とした実行委員会を組織し、住民へ
の芸術鑑賞機会の充実を図り、いきいきと心豊
かな生活が送れるよう芸術文化の振興を図りま
す。

スポーツ活動の推進について、地域スポーツ
クラブらと連携し、各種スポーツ教室やスポーツ大会を
開催し、町民の健康増進及びスポーツの振興を
図ります。

また、社会教育施設の整備・充実について、
現在、町民体育館・公民館の耐震診断の結果、
両施設が使用できないため、学校開放や町内会
館等を代替えの施設として住民の方々の協力を
得て、活動を継続しているところです。

体育館については、耐震改修のほか、アリー
ナのLED化や多目的トイレの設置、1階に会
議室等を設ける等、内部改修を行い、さらに利
用しやすい施設にする計画です。

公民館については、耐震診断結果からも解体
せざるを得なく、背面が急傾斜地のため、避難
施設等、公共施設の立地条件としてそぐわない
場所であることから、一校一園化による幼稚
園・学校適正配置計画策定後の空き施設の利用
等、公民館機能について総合的に判断したいと
考えています。

□おわりに

教育委員会として、当町の持続可能な地域づ
くりの未来を創造する人材の育成を推進するこ
とと町民の皆様が生涯にわたって豊かな学びが
続けられる環境づくりに最善の努力と教育施策
を着実に実行します。

議員の皆様をはじめ、両小学校・中学校・高
等学校PTAの皆様、地域住民の皆様の深いご
理解と建設的なご協力・ご支援をいただき、と
もに地域力の向上を目指して、教育施策を推進
しますので、重ねて皆様のご理解とご協力を心
からお願いを申し上げます。

ヒグマから羅臼町民を守るために！

●ヒグマ対策の電気柵

羅臼町にヒグマ対策用の電気柵が張られていることはご存じでしょうか（図1）。近年、人里まで下りてくるケースや人慣れたヒグマが多数確認されています。追い払いや場合によっては有害捕獲を行っていますが、労力にも限界があります。

そこで、ヒグマの出没を抑制させるために平成23年度から平成27年度にかけて、電気柵を設置しました。この電気柵はダイキン工業株式会社から総額4,000万円の寄付金によって設置されたものです。電気柵の設置範囲は、北浜から相泊までの8 km、羅臼市街地中心部の船見町から栄町までの北側に1.5 kmと本町から緑町まで1 kmの合計10.5 kmです。北浜から相泊は昆布漁の時期に漁業者の生活拠点となります。昆布漁の時期である7月と8月はヒグマの活動が活発となる時期であるため、ヒグマの目撃回数も増加します。過去には北浜から相泊にある番屋周辺や海岸にヒグマが出没した事例もあります。北浜から相泊は羅臼市街地中心部から遠く、対策員が通報を受けてから現場に到着するまでの時間にヒグマの事故が発生することも考えられるため、電気柵を設置し、人口密集地である羅臼市街地についても、過去にヒグマが侵入したことから危険度が高いため、電気柵を設置しました。（図2）



図1. 設置された電気柵



図2. 電気柵設置場所の詳細図、設置風景および効果



電気柵設置の効果

電気柵を設置した効果として、ヒグマが市街地や海岸へ出没した回数は激減しました(図3)。また、ヒグマ対策用の電気柵を設置したことによって、「エゾシカの目撃数が減ったよ!」という声も多数寄せられています。昆布干場でエゾシカの姿を見なくなり、交通事故も減少しました。



世界自然遺産「知床」の保全のために

知床半島の自然環境保全・復元事業を支援するため、平成23年7月からダイキン工業株式会社、羅臼町、斜里町及び公益財団法人知床財団が協定を結び、知床の自然環境の保全や復元、野生動物と地域住民の共存へ取り組んでいます。前述のとおり羅臼町では、ダイキン工業株式会社からの支援で電気柵の設置と維持管理を行い、平成28年4月以降も、ダイキン工業株式会社との協定を更新し、電気柵の維持管理を継続することができています。(図4)



図4. 電気柵の維持管理の風景

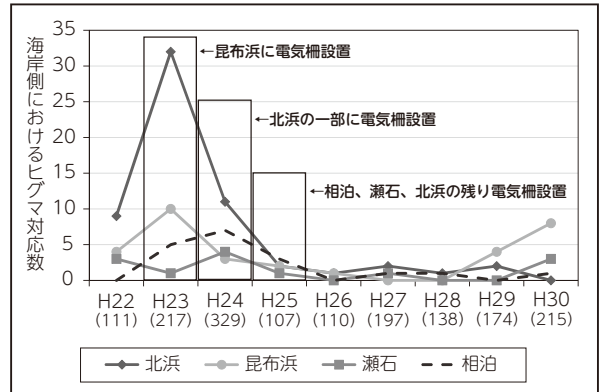


図3. 北浜から相泊間における電気柵設置によるヒグマの海岸側の出没状況。
※横軸の()内の数字は各年度のヒグマ対応総数

かつ、ヒグマの出没回数が多い場所をヒグマが出にくい環境にするため、地域住民・知床財団・羅臼町が参加し、草刈りイベントを実施することができました(図5)。さらに、支援の一部で資材等を購入し、環境教育活動を実施しました。令和6年3月まで支援を受けられますので、今後も継続して作業やイベントを実施していく予定です。

(資料及び写真については知床財団提供)

※電気柵は野生動物へ高い効果が確認されていますが、100%防ぐことはできません。安心・安全のために、ヒグマを誘因する要因とならないので『生ごみは外に置かない』、『夜間は魚を2階などヒグマが届かない場所に干す』、『敷地内(家の裏など)においてヒグマの餌となるフキやイタドリなどが繁茂している場所の草刈りを行う』など、ご協力をお願いします。

ダイキン工業株式会社とは…

大阪府に本社を置く空調機の大手メーカーで、国内、世界の売り上げ高・シェアともにトップクラスの実績を誇る企業。地球環境問題への貢献と事業成長の両立を目指し、環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。



図5. 草刈りイベントの前後の風景

知床・羅臼まちづくり基金 最終報告

寄付者や町民のみなさまへ

知床・羅臼まちづくり基金はふるさと納税導入後の平成27年12月1日より「地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業」、「一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまちに関する事業」、「自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業」、「豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業」、「持続的な行財政運営ができるまちに関する事業」および「その他、目的達成のために町長が必要と認める事業」を合わせた6項目を政策メニューとして位置づけ、基金の運用をしております。

昨年度は、ふるさと納税による寄付を中心として、全国各地から個人・法人合わせて33,537件ものご寄付を賜り、総額209,566,480円を知床・羅臼まちづくり基金に積み上げることができました。

ここに、平成30年度の基金運用状況の最終報告をさせていただきます。

1 基金の状況

	平成29年度以前 基金・件数		平成30年度 基金・件数		合 計 基金・件数		平成30年度の 基金の運用額	平成30年度基金 運用後残額
地域資源を活かした 活力ある産業のまち	88,496,099円	13,353件	81,182,549円	12,429件	169,678,648円	25,782件	7,042,000円	162,636,648円
一人ひとりが輝ける地域医 療、保健、福祉、介護のまち	53,099,236円	8,011件	25,191,578円	4,125件	78,290,814円	12,136件	6,435,860円	71,854,954円
自然環境に配慮し安心安 全に暮らせる快適なまち	61,319,350円	8,535件	30,548,631円	4,873件	91,867,981円	13,408件	10,881,910円	80,986,071円
豊かな心身を育み、明 日へとはばたくまち	15,860,492円	3,141件	12,437,690円	2,132件	28,298,182円	5,273件	12,152,536円	16,145,646円
持続的な行財政運 営ができるまち	9,942,275円	1,504件	5,742,175円	900件	15,684,450円	2,404件		15,684,450円
その他目的達成のために 町長が必要と認める事業	82,359,596円	12,456件	54,463,857円	9,078件	136,823,453円	21,534件		136,823,453円
合 計	311,077,048円	47,000件	209,566,480円	33,537件	520,643,528円	80,537件	36,512,306円	484,131,222円
運 用 益	359,769円	—	2,885円	—	362,654円	—		

2 基金の運用

基金を運用し、「特産品全国PR活動事業」「ホタテ資源を守るためのヒトデの駆除事業」「子育て支援各種事業」「羅臼町青年町外先進地視察事業」「防災備蓄品の更新事業」「学校教育におけるICT機器の導入事業」等様々な事業を行いました。今後も、産業活性化事業や自然保護、子育て支援策等の取り組みに有効的に活用させていただきます。



子育て支援各種助成制度を新設



「羅臼のふつうは、日本のごちそう」をキャッチコピーとした特産品全国PR活動

寄付者の方々 (平成30年4月～平成31年3月)

(順不同・敬称略)

- ・ 宗教法人 念法真教 大阪府
- ・ 北海道コカ・コーラボトリング(株) 札幌市
- ・ UAゼンセン同盟 東京都
- ・ 松緑神道大和山羅臼天水支部 羅臼町
- ・ 杉下道昭氏 札幌市
- ・ 高橋力也氏 兵庫県
- ・ 加藤隆榮氏 室蘭市

(注1) 寄付者について、氏名の公開を希望されていない方の掲載はしていません。

(注2) 住所は寄付時の住所となります。

○知床・羅臼まちづくり基金については、羅臼町ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.rausu-town.jp>

あしたへつながる防災知識

第17弾

防災情報・町内情報メール登録していますか？

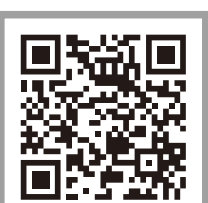
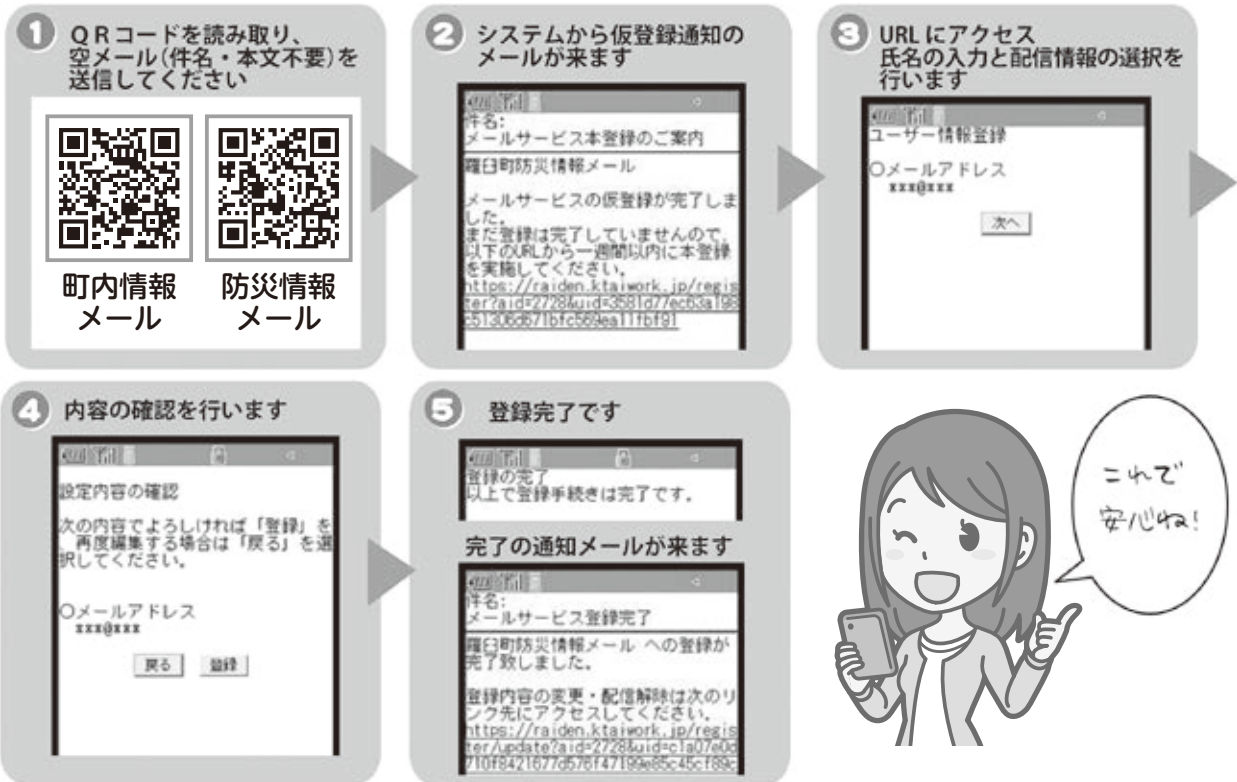
現在、町では「防災情報メール」と「町内情報メール」の配信を行っています。このメールではそれぞれ警報級の気象情報や悪天候によるごみ収集中止などについて配信をしています。これから台風や大雨が多い季節となるので自分の身を守るためにも是非登録をお願いします。

配信している 内 容	防災・町内情報メールを使い周知している主な情報は下記のとおりとなっておりますが、その他にも状況に合わせて様々な情報を周知しています。
	<p>～防災情報メール～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気象情報 ●地震・津波情報 ●避難情報 ●国民保護情報 ●町内の通行止め情報 など <p>～町内情報メール～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヒグマの出没・被害情報 ●ごみ収集の中止 ●阿寒バスの運行中止 など

●羅臼町防災・町内情報メール(登録制)の登録方法について

登録方法については下記のとおりとなります。

●メールで登録する場合 → 次の順に操作してください。



町内情報メール

※QRコードが読み取れない方は下記アドレスに空メールを送信。

chounai.rausu-town@raiden.ktaiwork.jp



防災情報メール

※QRコードが読み取れない方は下記アドレスに空メールを送信。

bousai.rausu-town@raiden.ktaiwork.jp

※rausu-town@raiden.ktaiwork.jpからのメールを受信許可するように設定してください。

役場に来ていただいてその場で登録することも出来ますので、その場合は携帯電話をご持参の上、役場2階総務課へお立ち寄りください。

何かご不明な点がある場合についても総務課(☎87-2111)へお問い合わせください。

食中毒を予防するために

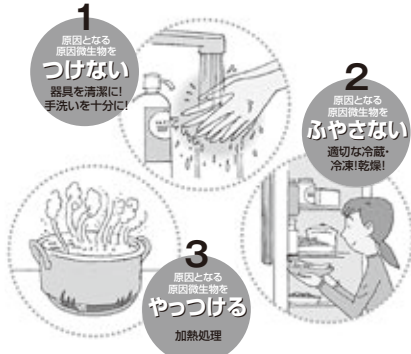
ヘルス
チェック

食中毒とは、細菌やウイルスなどがついた食べ物を食べるにより下痢や腹痛、発熱、吐き気などの症状が出る病気です。気温や湿度が高く細菌が増えやすい時期は、家庭での食中毒も増えやすいので注意が必要です。特に子どもや高齢者は食中毒になると重症化しやすいため、家族みんなで予防を心がけましょう。

予防の3原則は菌やウイルスを『つけない』『ふやさない』『やっつける』の3つです。

特にノロウイルスは感染力が強く、手から感染しやすいのでトイレに入った後や調理、食事の前には手を丁寧に洗いましょう。(洗剤で2回洗いペーパータオルなどで拭いてよく乾かす)ノロウイルスの消毒には家庭用漂白剤(キッチンハイターなど)を水でうすめた消毒液を使用し、食品は加熱(中心温度85~90℃で90秒)しましょう。

【食中毒予防の3原則】



【おもな食中毒菌】

原因菌・ウイルス	おもな感染源	おもな症状
サルモネラ	鶏卵・鶏肉・豚肉など	下痢、腹痛、悪寒、発熱、おう吐、頭痛など
腸炎ビブリオ	魚介類など	差し込むような腹痛、激しい下痢
カンピロバクター	食肉(特に鶏肉)など	発熱、けん怠感、筋肉痛に続いて吐き気、下痢
腸管出血性大腸菌O-157	食肉(特に牛肉)など	激しい腹痛、血便(鮮血)の他、合併症を起こす
黄色ブドウ球菌	調理者の手指を介した食品など	吐き気、おう吐、下痢、腹痛
ウエルシュ菌	食肉・魚介類など	下痢、軽い腹痛
ノロウイルス	生ガキ・調理者の手を介した食品・飲料水など	おう吐、腹痛、下痢、頭痛、発熱など

~令和元年6月末現在特定健診受診者状況~ 対象数:1,466名 受診者数:175名 受診率:11.9%

羅臼町役場 保健福祉課 TEL 87-2161

子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは毎月~金
9:30~11:30まで
火・水は午後も開放!



「パパの日に」を設けました。ママの役割・パパの役割がそれぞれの子どもに伝わっていることが理解できました。パパの寄り添う姿が完璧です。参加してくれた皆さんありがとうございました。

★パパの回:最高!
参加ありがとう★

♪8月・9月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳~3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳~3歳対象)

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 8月2日(金) すくすく広場 | 8月5日(月) ママの日♪ | 8月7日(火) ありんこ広場 |
| 8月14日(水) ありんこ広場 | 8月21日(水) ありんこ広場 | 8月23日(金) のびのび遠足 |
| 8月28日(水) ありんこ広場 | | |
| 9月2日(月) ママの日♪ | 9月4日(水) 羅臼幼稚園訪問 | 9月6日(金) すくすく広場 |
| 9月11日(水) お祭りごっこ | 9月18日(水) ありんこ広場 | 9月25日(水) 春松幼稚園訪問 |
| 9月27日(金) のびのび広場 | | |

- * 8月23日(金) のびのび遠足と9月11日(水)のお祭りごっこは事前申し込みが必要です。「ありんこ通信」をご覧ください。
- * 毎週火曜・水曜日の13時~16時30分まで一時預かりを行っています。幼稚園行事の時、午前中の預かりもします。事前にお申込みください。
- * 問い合わせ先: 羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 Tel88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

風疹ワクチン抗体検査について

対象の方は医療機関で検査を受けましょう！

対象：昭和37年4月2日～

昭和54年4月1日までに生まれた男性

※対象者は3年に分けてクーポン券を発行していますのでクーポン券が届きましたら予約してください。

持ち物

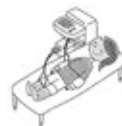
- 役場保健福祉課から発行されたクーポン券
- 住所が記載されている身分証明
(免許証・マイナンバーカードなど)

予約制となっておりますので、平日の日中に電話または窓口までお問い合わせください。

健康管理してますか

◆動脈硬化健診 1,500円+税

自分の血管年齢を知っていますか？悪くなると脳卒中や心筋梗塞といった命にかかわる病気になります。



◆ピロリ菌検診 2,000円+税

採血だけでできるピロリ菌検診で胃がんのリスクを減らしましょう。



◆骨密度健診 2,000円+税

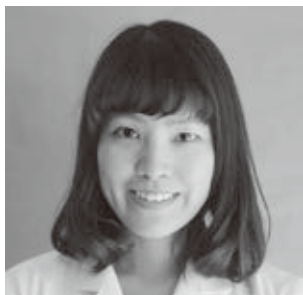
あなたの骨は大丈夫ですか？定期的に健診を受けて骨粗鬆症のチェックをしましょう。



検査時間は10分程度です。結果は後日郵送になります。興味のある方は検査してみませんか？

初期研修医の受け入れ

2016年に松江市立病院と締結した「研修医の出向契約」により、当診療所が初期研修医を受け入れるもので、今回で4回目になります。今回、研修医として着任される2名の先生はへき地医療を学ぶため交代で約1か月間にわたり当診療所で研修する予定となっております。



8月 田中聖子先生



9月 宇野将史先生

どうぞよろしくお願ひします!!

木島所長より Vol.1

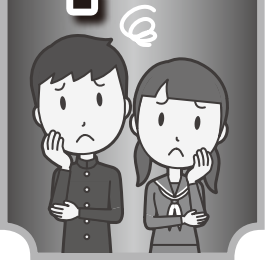
高血圧や糖尿病などの生活習慣病は、薬では治りませんし、薬を飲んでいても普段の生活習慣が変わらない限り、心臓や脳の大きな病気につながってしまうことが多く、食事や運動といった生活習慣の見直しが必要となります。



～予約・お問合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



親しまれた羅臼町公民館が 開設50周年を目前に…年内解体!



町では、公民館の耐震診断を行った結果「地震の振動及び衝撃に対して倒壊または崩壊の危険性が高い」との診断結果が出たため、即日、施設の利用を禁止し対応策を検討した結果、長寿命化を図ることは難しいと判断し、解体することとなりました。

その後、図書室は約6万冊の蔵書や書棚の移動、除籍処理などを進め、現在も分散した蔵書の片付けが続いています。現在は役場1階ロビーに6月10日より臨時開設をしています。(左ページ)

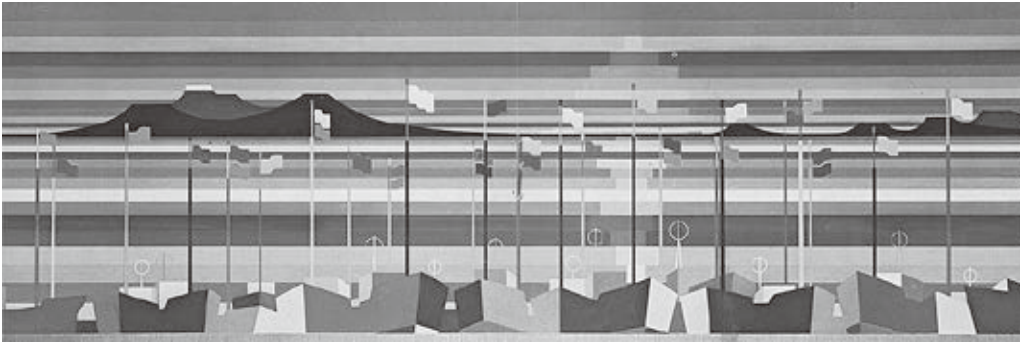
また、公民館の音響設備や各種備品の運搬が終了し、解体に向けた準備が整ったところです。

教育委員会事務所は、役場2階に移転しました。活動拠点や集会の場を突然失い、町民が戸惑う状況の中、様々な活動が停滞しないよう職員一丸となり全力でサポートしてまいります。

公民館のはじまり

戦後、国は、社会教育法(昭和24年)に「青少年及び成人に対する教育活動を促進するため環境を

文化交流の場をダイナミックに演出した緞帳



朝日が昇る海と船の賑わいに、漁業の発展を願い未来に託したデザイン。49年間このステージで式典や結婚式、催しが行われ多くの町民が集った。

開基70周年に落成

羅臼町開基70周年町政施行10周年記念事業の一環として町民福祉センター(現羅臼町公民館)が落成。昭和45年7月16日竣工。総事業費8千4百万円をかけて完成しました。



漁民の像スケッチ 長谷川工氏

これからの公民館

当時の開館記念パンフレットには、「近代建築技術の粋を誇るものであり、その設備規模は管内はもとより道内屈指のものであります。」と記されています。

当時の佐藤一町長のあいさつ文には、「今後このセンターを中心に行われる郷土づくりの動きが、住民生活への豊かなるおいをもたらすことを念じてやみません。」と結ばれています。

公民館活動は、この願いの通り、生産第一の漁業を中心として生きる町民に、楽しみや喜びをもたらす、現在に至る歴史を紡いできたといえます。

現在の公民館部分の建物は、補修が困難と判断され、年内に解体することが決まっています。

また、町民体育館は補修が可能であるため、利用者の要望を踏まえて、内部改修する予定です。

これからの公民館については、羅臼町の財政規模や人口動態を見極めながら、新たな時代に求められる集会施設の在り方を模索し、多くの方が魅力を感じられる文化施設になるよう、様々な角度からの検討が必要になります。



お一人様用の机と椅子を3台設置



お子さん連れでも 畳でどうぞごゆっくり



棚を低めに 開放感を演出



海を眺めながら読書ができる展望スペースに3200冊の本を!

新たな図書活動に向けて ピンチをチャンスに変えて 図書室の魅力アップ!

役場1階ロビーに臨時開設して約1か月が経過しました。「ついでに利用しやすい」「吹き抜けが開放的」「居心地が良い」など評判も上々です。

蔵書の行方について

スペースが狭く、すべての蔵書を持ち込めないため、蔵書を町内の各施設に分散し保管しています。これまで通り、予約申し込みをし

ていただくと職員が取りに行き、用意をさせていただきます。

また、児童読み物については、春松小学校の展望スペースに預け、幼稚園に移管しました。

そのほか、除籍基準に基づき廃棄したものや、まだ使える本も置く場所がないため除籍して学校や幼稚園に移管しました。

そのほかの本も年内に数回、無料で町民還元之机を設ける予定です。どうぞご協力ください。

8月から蔵書検索システムが利用できます。

*インターネット上で蔵書の検索ができるようになります。
*URLや使い方などは、あらためてお知らせします。

利用案内

↓開室日・開室時間

【平日】 8時45分～19時

(貸出は9時開始)

【日曜・祝日】 10時～17時

※正面玄関をご利用できます。

↓休室日

・毎週土曜日

・月末金曜日





城下町のわだい

みんなでまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

5月31日(日)

環境保全活動に 継続的な寄付

北海道コカ・コーラボトリング(株) (佐々木康行社長) より町内に設置している自動販売機の売上金の一部「259,061円」の寄付をいただき、寄付金贈呈式が行われました。

この寄付は、世界自然遺産として登録された知床地区に対する応援事業として平成20年より継続して行われております。長年にわたるご厚意ありがとうございます。



6月15日(土)

第58回知床開き

悪天候が心配される中、開始の合図とともに高校生によるよさこいが披露され、役場から会場までの道のりを法被姿で華麗に舞い、その姿に惹きつけられた方々が沿道から声援を送っていました。そして、メイン広場・ステージでは、綱引き大会や知床いぶき樽演奏等が行われ、来場された方々を楽しませてくれました。

知床開き最大のイベント「花火大会」では、音楽に合わせた大玉が次々に打ちあがり、会場内を魅了し、ファイナールを飾りました。悪天候の影響から1日限りの開催となりましたが、ご協力いただいた皆さんありがとうございました。



7月4日(木)

むし歯のない子の表彰式

幼稚園の歯科健診で、むし歯のなかった子の表彰式が行われました。今年度、むし歯のないお子さんは11人でした。これからも歯みがきと仕上げみがきを続け、間食に気をつけて健康な歯を保っていきましょう。



令和元年度 年長さんで むし歯のなかったお子さん

住所	対象者氏名
峯浜町	アマガタ ユウカ 天方 佑香 ちゃん
	ニシカワ サクラ 西川 桜愛 ちゃん
	ヒエダ メグミ 稗田 恵実 ちゃん
春日町	サカモト ひまり 坂本 ひまり ちゃん
	フジノ せいら 藤野 せいら ちゃん
礼文町	ミヤモリ エイト 宮森 瑛叶 くん
湯ノ沢町	ヨシダ ユウサク 吉田 夕朔 くん
富士見町	ムカイ ノノ 向 栞乃 ちゃん
船見町	ムカイグチ ショウタ 向 昇汰 くん
共栄町	イガラシ ヒイロ 五十嵐 陽彩 ちゃん
海岸町	キクチ ハルナ 菊池 春菜 ちゃん



ボランティアによる町道望郷台線の側溝清掃

宗団法人松緑神道
大和山様により、町道望郷台線の道路側溝清掃をしていたいただきました。

昨年秋からの落ち葉や雪融けで流れてきた多くの枝などがあり、それらを撤去、清掃していただいたことで、本格的な観光シーズン前に綺麗な道路環境を整えることができました。
この度は本当にありがとうございました。



春松小学校放課後児童クラブを開設しました

4月6日に春松小学校放課後児童クラブが開設されました。平成27年4月に羅臼小学校内に開設し、町内では2カ所目の放課後児童クラブです。

放課後児童クラブとは、保護者が日常的に就労などで家にいない家庭の児童が、放課後などに安全に過ごす場所です。クラブは春松小学校の1階教室にあります。現在は12名の児童が元気に通室しています。



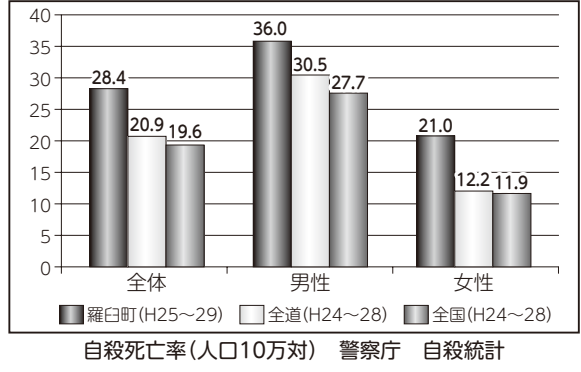
「羅臼町いのちを支える自殺対策計画」を策定しました!!

自殺対策基本法改正によりすべての自治体に計画の策定が義務づけられ、自殺は「個人の問題」「こころの問題」としてとらえるべきものでなく、自殺対策は、社会的な取り組みとして実施されなければならないと明記されました。

羅臼町においても、誰も自殺に追い込まれることのない、いのちを支える羅臼町を目指して、「羅臼町いのちを支える自殺対策計画」を策定しました。



計画の詳細は羅臼町HPに掲載しています。



羅臼町の自殺死亡率は全国、全道に比べて高い状況です。

自殺対策は行政だけの取り組みではなく、町民や地域、関係団体、専門機関、企業、事業所、経営者、学校など、社会全体で取り組むことが重要です。

今後は、町一丸となって自殺対策に取り組めます。



孫の顔を見せに静岡へ帰省

Rebirth Rausu

～地域おこし協力隊として
羅臼のことをもっと知ってもらいたい～

来客者が来るたびに

友人が羅臼を訪れたり、町外へ出たりするたびに自分の中で変化していることに気づかされます。それは、少しずつではありますが羅臼のことを語れるようになっていくことです（少し大げさではありますが…）。これまで、羅臼のことを知るためにあちこちへ足を運び、取材・記録を継続してきました。気になること



やわからないことがあれば、わかるようになるまできいてきました。そのときに、知りえたことが点となり、点が増えるたびに線としてつながり、羅臼について話せることが増えてきました。（もちろん羅臼町民には負けますが…）

来客者が来れば、「もう一度羅臼に行きたい」と言われる案内を心掛けています。羅臼に来た友人たちは、『熊の湯』や羅臼の『海産物』に心惹かれています。時間があえば、羅臼の漁師と出会えるようコーディネートし、「初めて漁師の知り合いができた。」と喜んで帰ります。羅臼への観光は、都会では感じられない、『羅臼の心意気』が感じられる特別な経験として記憶に残るようです。羅臼ファンの獲得です。これからの活動でも、着地型のツアーとして漁師と出会える、漁師の仕事が体験できる、漁師とごはんを一緒に食べるなど普通の旅行では体験できないものを提供できたら、楽しいだろうなと思っています。

幻の『ラウスブドウエビ』

「食べてみなければ伝えられないしょ？」取材先でのある一コマです。羅臼のエビ籠漁初日、ブドウエビの取材に行かせてもらいました。一尾1000円以上もするブドウエビを取材させてもらえるだけで十分だったのですが、まさかその場でいただけるとは思ってもみませんでした。「もっと多くの人に知ってもら



いたい。」という漁師の方の思いを実現するため、今まで以上に熱を入れて発信させていただきました。思いが届いたのか6000人以上の方に見てもらえることができました。『漁師の心意気』に感謝です。

羅臼町地域おこし協力隊 大石 陽介

TAXコラム

(税務財政課通信)

情
報
ひろば
RAISU TOWN
INFORMATION

「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？」

令和元年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？

納期限を過ぎて納税した場合、遅れた日数に応じて延滞金が加算される場合がありますので、納付がお済みでない方は至急納税するようお願いいたします。

「町・道民税は特別徴収が便利です！」

根室振興局と羅臼町では、従業員の利便性向上と税負担の公平を図るため、特別徴収の拡大に向けた取り組みを進めています。

町・道民税の特別徴収とは

町・道民税の特別徴収とは、事業主が、所得税の源泉徴収と同様に、納税義務者である従業員に代わって毎月支払う給与から町・道民税を徴収し、役場に納入していただく制度です。

所得税のように税額計算等をする必要がありませんし、従業員の方々にも様々なメリットがありますので、特別徴収を未実施の事業主の方は、特別徴収への切替えをお願いします。

従業員の方々のメリット

- ・1回あたりの負担が少なくなります。
1年分の納税が12回に分けられ、普通徴収(年4回)に比べて納めやすくなります。
- ・金融機関や役場窓口等へ納税に出向く手間がかかりません。
- ・毎月の給与から天引きされますので納め忘れがなく、滞納や納税証明が発行できないことを防ぐことができます。

【7・8月の夜間窓口】 ※7・8月は、休日窓口を休止いたします。

〈7月〉7月31日(水) 午後7時まで

〈8月〉8月30日(金) 午後7時まで

〈お問合せ先〉 役場税務財政課 TEL87-2113

ヒグマの対応状況をお知らせします



今年度から、クマが目撃・出没する時期にクマの目撃・出没状況、捕獲状況や対策などの情報を2ヶ月毎にお伝えしていきます。また、クマの出没がなくなる1月に今年度の総括として、ご報告する予定です。

5月、6月のクマ目撃・出没状況

◆対応件数62件(前年度82件)

- ◇峯浜町(親子グマ)…峯浜漁港付近の山斜面から居麻布川の間で目撃多数
- ◇知床横断道路(親子グマ、単独グマ)…全域で目撃多数
- ◇湯ノ沢町(親子グマ、単独グマ)…湯元橋から熊の湯温泉間で目撃多数
- ◇共栄町から瀬石(親子グマ、単独グマ)…斜面側や番屋周辺で目撃多数

5月、6月のクマ駆除状況

◆駆除件数5頭(前年度4頭)

- ◇共栄町で追い払いを行ったが、人間を怖がらずに再出没したため4頭を駆除
- ◇峯浜町にて追い払い後も日中に道路横断したため、1頭を駆除

クマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などクマが届かない場所に干す、草刈りを行うなど、ご協力をお願いします。
- 住宅用の電気柵を知床財団で貸し出ししています。詳しくは知床財団(TEL 87-2828)まで
*数に限りがありますのでご了承ください。



©知床財団

クマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見したら、24時間対応していますので、役場 産業創生課(TEL 87-2126)までご連絡下さい。

おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

5月例会句
令和元年5月

川底の素足に光の波あそぶ 悠 羅
 酒あらばこそその風情や柳絮舞ふ 鹿 山
 母を追ふ素足に畦道ぬかるみぬ 泥 舟
 下駄草履裸足も消えた田舎道 羅 牛
 跣足の子くつアベコベに走りだす 英 美
 あれこれと素足に似合う色選び こずえ

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町
 羅臼いさり火吟社 宮 腰 實
 (電話)0153-87-3758

寄付・寄贈ありがとうございました

知床・羅臼まちづくり基金

【その他、目的達成のために町長が必要と認める事業】

加藤 隆榮 様

【自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業】

北海道コカ・コーラボトリング様

(令和元年5月11日～7月10日受付分掲載)

人の動き

令和元年6月末現在 ()内は令和元年5月末対比

人口 4,937人 (- 7) 男 2,460人 (- 3)
 世帯 2,075世帯 (- 2) 女 2,477人 (- 4)

編集後記

今年の神社祭では山車の当番町内会だったため祭典に参加してきました。当日は、雨模様の中での神輿、踊り披露となり参加された皆さん、沿道に駆け付けてくれた皆さんには厳しい1日となったことと思います。人口減少が進む中、町内会行事の参加者も少なくなり昔に比べるとどこか寂しく感じるところもありますが、このような機会を通して世代を超えた交流や小さな町でしか味わえない親近感など改めて感じる事ができ楽しい1日を過ごしました。

この度、当番町内会で参加された皆さん、関係者の皆さんお疲れ様でした。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 令和元年7月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
 〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
 ☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>